



言い方いろいろ…やさしい日本語 順番は…？

日本語を学習中の子どもたちは、日々の生活の中で自然に表現を身に付けていきます。

加えて、国際教室では、日本語を系統的に指導し、徐々に表現の幅を広げるようサポートしています。

「日本語学習中の子どもに 書かせるとき、何と声を掛けますか？」

子どもたちが浴びる言葉のシャワーは、どんなものでも、もちろんかまいません。



書きなさい

書くよ

書きましょう

書いて

書いてください

書きます

書ける？

書け

書こう

書きます「ます形」は初期に学習

↓

書いてください「て形」は活用あり。様々な形で

↓

書いて「てください」の略形

↓

書くよ「辞書形『書く』」は「ことができます」と

↓

書きなさい「ます形」+「なさい」

↓

書きましょう「ます形」+「ましょう」

↓

書こう「意向形」ましょうの普通形

↓

書け「命令形」文例は“がんばれ”などで教えます

↓

書ける？「可能形」は結構、後に出ます

ただ、現在、**系統的に学習している順番**をあげるとすると、私が活用しているテキストに沿って、このような順番で単元を仕組んでいます。



昨年来日したこの3人は、
今、このあたりを学習しています。

声掛けをしてみて、
「あれ？理解できていないようだな。」
と、思われたときは、**シンプルな「ます形」**で
言い換えてみるなど、

個別に応じた「やさしい日本語」
を試みていただければ、と思います。

修学旅行 ～私はベトナムの戦争と比べられます。だから、2倍勉強できるんです！



もみじ饅頭作りも楽しみ♡

来週、広島に行きます。私は、ベトナムの戦争について言聞
ました。最初は、日本とベトナムは、関係してないと思
ったけど、言聞いたら、日本はベトナムに悪いことし
たと知りました。でも日本とベトナムはどっちも苦しいです。
だから、広島に行き、戦争のおそろしさを学
びたいです。

先生より Teacher's comment